

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・ 事業所 の特徴	自分や家族・友人が利用したいと思うサービスを提供します。 通所・宿泊・訪問この3つを自由にその方にとって必要な支援を組み合わせ、その時の体調や状況によって柔軟なサービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護深沢	管理者	池田 愛美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	人	1人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			前回は事業を開始したばかりであった為か、目標が抽象的であった。目標は具体的にした方が良い。例えば数字を入れるなどした方が良い。	評価しやすい目標設定にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者さんが、居心地が良いと感じられるように、空間や雰囲気作りを行う。 事業所として分かるように看板設置を検討する。	季節を感じられる飾りを入り口やフロア内に行い始めている。 建物や事業所入り口への看板の設置を行った。	開設当初から扉が倉庫みたいで入りづらい。	利用者や事業所に訪れた人が入りやすいような雰囲気作りを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	地域のイベントに参加する。 地域の行事等で事業所の紹介等していく。	深才ふれあいまつりに参加し、地域の方々と交流する事ができた。	今年初めて深才ふれあいまつりに参加し、介護相談を実施できた。	深才ふれあいまつりへの参加を継続。今年度の反省を踏まえ、地域の方が相談しやすい工夫を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のイベントに参加する。	深才ふれあいまつりに参加し、地域の方々と交流する事ができた。	地域で困っている方に配食弁当をきっかけにしてサービスが導入できた事は良かったと思う。	サポートセンター上除で行っているオレンジカフェへ参加し、地域の方との交流や地域の情報収集を行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議が、地域の情報共有の場になっている	事業所の取り組みの報告や相談の他、地域の心配な方についての情報共有行っていく。

F. 事業所の 防災・災害対策	防災訓練に運営推進委員の方が参加できるように調整する。 AED についての勉強会を計画・実施する。	深沢センターにて防災訓練を行ったが運営推進会議に合わせて実施する事はできなかった。 消防署の方による救命救急法の研修に参加できた。今後参加できなかった職員へも伝達していく予定。	防災について少し説明があったが分からなかった。	防災マニュアルについて見直しを行うと共に運営推進会議でも説明を行っていく。
--------------------	--	---	-------------------------	---------------------------------------